

◎パチスロ超GANTZ

パチンコ台にもなったSFバトル漫画とのタイアップ機が、スパイキーから、差枚数管理型の5.9号機として登場。ART突入時の30%で上位特化ゾーンからスタートするなど、一撃の出玉にも期待できる仕様となっています。エンディングまで、どのような道筋をたどるのか。注目です。

ART（純増約2枚/G）機。CZ突入の契機となる液晶のメーターは、ART終了後、二つ貯まった状態でスタート。ART引き戻しのチャンスとなります。



©奥浩哉 / 集英社 ©奥浩哉 / 集英社・[GANTZ-O]制作委員会
©Spiky ©NANASHOW

パチスロにも「転送」

本機は、ART（純増約2枚/G）機で、ベースは50枚あたり約40G、コイン単価は約2.6円。ART初当たり確率は1/479～1/359、チャンスゾーン（CZ）突入合成確率は1/99.9～1/93.8。出玉率は、97.9～110.2%です。

■通常時+CZ

通常時は、液晶上に3ケタの数字が止まり、奇数図柄がそろるとARTが確定するというゲーム性。基本は、2種類のCZをメイン契機にART突入を目指します。

CZ「サバイバルZONE」は、チャンス目がキモ。チャンス目成立で、CZを抽選。はずれても、液晶右下に表示されているメーターの点灯抽選をしており、メーターが三つ点灯すると、「サバイバルZONE」突入となります。

同CZの継続ゲーム数は $5G + \alpha$ 。全役でARTを抽選しており、リール上に、転送図柄がそろるとART確定となります。

もう一つのCZ「転送モード」は、通常時に転送図柄がそろって突入。8枚役が6回入賞するまで継続します。

「転送モード」中は、レア役がカギ。液晶上の背景の色が昇格していき、赤背景到達でチャンス。最終ゲームには、カットインが発生し、その色によって

ART突入の期待度を示唆します。

■ART+ 上乗せ特化ゾーン

ARTは差枚数管理型で、ART突入時には、初期枚数を決める獲得枚数上乗せ特化ゾーンからスタート。ART中は、レア役で、枚数上乗せやCZなどを抽選。CZ中の条件クリアで、上乗せ特化ゾーン行きが確定します。

上乗せ特化ゾーンは2種類。

突入前に、液晶に原作でもおなじみの黒い球体が登場し、点数を表示。100点未満で「GANTZ RUSH」、100点を取ると、上位特化ゾーン「超GANTZ RUSH」に突入します。

「GANTZ RUSH」は、点数の十の位がゲーム数となります（最低3G）。レア役獲得で、ゲーム数の減算が一時ストップ。転送図柄ぞろいで、上位特化ゾーン「超GANTZ RUSH」にランクアップします。

「超GANTZ RUSH」は、 $5G + \alpha$ （最低保証200枚）。毎ゲーム、5～100枚の上乗せをする継続率管理型で、ループ率は95～98%。平均獲得枚数は約400枚となります。

■「ぬらりひょんバトル」

ART中のCZの一つ「ぬらりひょんバトル」は、同バトル高確状態時の押し順ベルの1/4で移行するスペシャルバトル。3G間に、全小役で勝利抽

選を行い、勝利すると「超GANTZ RUSH」が確定します。

さらに、RUSH終了後は、「ぬらりひょんバトル」の高確状態に再度移行。「超GANTZ RUSH」のループに期待できる仕組みで、大量上乗せのチャンスとなります。

「BLACK LAGOON3」に引き続き、スパイキーから登場する5.9号機。

本機のエンディング到達時の平均獲得枚数は、約2500枚と十分。ただ、「BLACK LAGOON3」同様、有利区間の終了間際に、上乗せをしない状態に移行するなど、ユーザーをがっかりさせてしまう可能性も。運用には気を付けたいところです。

PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して12年。業界歴は28年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。